

こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしもかわゼロカーボン通信では、「二酸化炭素に関するはなし」を紹介しました。今月号では、「再生可能エネルギー」をテーマに紹介していきます。と思います。

二酸化炭素はどこから

地球温暖化の原因となる温室効果ガスのうち、最も多くを占めるのが二酸化炭素（CO₂）です。CO₂は主に石油や石炭などの、化石燃料を燃やして発電するなど、エネルギーを作る際に排出されています。

Check1!

①化石燃料とは

大昔にいた動物や植物が、長い年月をかけて変化してできた燃料。石油、石炭、天然ガスなどが当てはまります。

②エネルギーは何に使われる?

エネルギーは日常生活のいたるところで使われています。

- ・車を動かす(ガソリン・軽油)
- ・電球で室内を明るくする(電力)
- ・お部屋やお風呂を暖める(灯油)
- ・調理をする(LPガス)

再生可能エネルギーとは
再生可能エネルギーは、太陽光や風力など自然界に常に存在するエネルギーのことです。その大きな特徴は「枯渇しない」、「どこにでも存在する」、「CO₂を排出しない」(増加させない)の3点です。化石燃料をエネルギー源として発電する電力や熱と違い、エネルギーを作る際にCO₂を排出しません。ゼロカーボンを目指すうえで、再生可能エネルギーを活用することが重要です。

Check2!

主な再生可能エネルギー

太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・バイオマス※など
※バイオマス…再生可能な生物由来の有機資源(ただし、化石燃料は除く)のこと



下川町の「再生可能エネルギー」の取組は?

下川町では、他に利用方法がない木を燃やし、熱エネルギーとして利用する取組を進めています。

木質バイオマスボイラで燃やした熱で水を暖め、温水を循環させることで、暖房や給湯の熱源として利用しており、公共施設で使用している熱需要のうち、約7割を森林バイオマスで自給しています。

また、化石燃料を森林バイオマスに転換したことでも年間約3,000万円の燃料費を節約できしており、節約分の一部を財源に、子育て支援の充実を図っています。さらに、将来のボイラ設備の更新費用の積立てにも充てています。

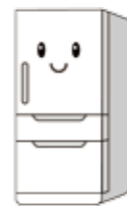


今日から実践!ゼロカーボン

詰め込みすぎに注意!
冷蔵庫で省エネ実践!

買ってきた食材を保存、冷凍できる冷蔵庫は、日常生活に欠かせない家電です。最近では、大容量かつ省エネ性能が高いものが多く出回るようになりましたね。

そんな冷蔵庫ですが、実はものをいっぱい詰め込むより、半分程度に収めたほうが、年間で21.4kgのCO₂を削減することができるのです。また、電気代も約1,180円の節約になります。詰め込みすぎに気を付けることで、冷やすために使う電気を抑えることができるので、ぜひお試しください。



しもりんエコポイント2022開催中!

期間:2022年7月1日~9月30日

受付:事業協同組合(月~金 9:00~15:00
土日祝日 10:00~16:00)



詳細はこちら↑

環境に配慮した行動で
しもりんポイントGET!



あとがき

ゼロカーボン通信vol.3をお届けしました。ゼロカーボンを達成するには、まずは省エネ、そして化石燃料に替わって「再生可能エネルギー」を利用していくことがとても大切です。それでは、次回のゼロカーボン通信もお楽しみに!